



ご理解・ご協力ありがとうございました！

—2学期を振り返って—

今日が2学期最後の日になりました。8月20日から始まり例年より長い2学期でしたが、全校生216名のうち一日も欠席しなかった子どもは、155名いました。また、全校生が全員登校した日数も昨年に比べて増えています。すごいことです。コロナ禍の中、全校生が元気に登校してくれたことが何よりもうれしいです。これは、保護者の皆様のご協力のおかげだと感謝しています。

さて、2学期は、コロナウイルス感染予防をしながら、1学期に中止や延期していた行事を少しずつ行ってきました。例年通りできないことが多かったのですが、「伝説の上小運動会」など、子どもたちの思い出になる行事が工夫してできたことをうれしく思っています。これも、保護者の皆様のご理解あつてのことです。ありがとうございました。

全国的な感染状況を考えると、冬休み明けの3学期がどのような状況になっているか分かりませんが、3学期も子どもたちや保護者の皆さんの健康を第一に考えて、様々な行事や活動を行っていく予定です。1月8日に、216名の元気な笑顔が学校に戻ってくることを楽しみにしています。冬休みには、感染予防等、子どもたちの生活について引き続きよろしくお祈りします。2021年は、コロナウイルス感染症の拡大が収束し、安心して生活できる日常に戻ることを切に願うばかりです。



ビデオで町探検



シューター訓練



落ち葉ボランティア



オンライン授業体験



なかよし集会「みんなが笑顔になるために」



12月22日と23日になかよし集會を、感染症拡大防止のためにリモートで行いました。22日には、学級代表の子どもたちが、「なかよしめあての振り返り」を発表しました。どの学級の代表も、しっかりと声で学級で話し合ったことを全校生に伝えることができました。23日には、河村先生から「みんなが笑顔になるために」という内容のお話があり、その後じゃんけんゲームをしました。各教室から楽しそうな声が聞こえてきました。子どもたちは、日々の人権学習や学校生活の中で、友達を差別したり友達に意地悪をしたりせず、相手の気持ちを考えて行動するということを学んでいます。大切なことは、自分がしたことに対して、相手がどう思うか、また、自分がされたらどう感じるかを想像することだと思います。最近の報道を観ていると、コロナ患者や医療従事者に対する差別が大きな問題になっています。コロナは、いつ、誰が感染しても不思議ではありません。もし、自分や身近な人が感染したとしても、心穏やかに生活できる社会や学校にしていけるために、コロナのことを正しく知り、正しく判断・行動することが重要だと思っています。

各クラスのなかよしめあて

ともだちのきもちを かんがえる
「キラキラことば」と「キラキラたいど」をつかおう
「それいいね」 みんながつながる おまじない
しずかちゃんのふわふわことばをつかおう
みんなが笑顔になれるふわふわ言葉を自分から使おう
みんななかよく笑顔でいよう
友達のいいところを見つけよう
相手のよい所見つけ、相手の気持ちを考えて行動、
一人ぼっちの人に声かけ
自分も相手も傷つかないために
相手の気持ちを考えて行動する
笑顔で卒業するために、いじめ、差別、偏見をなくし、
素直な気持ちでがんばろう！

- 1年1組
- 1年2組
- 2年1組
- 2年2組
- 3年1組
- 3年2組
- 4年
- 5年
- 6年1組
- 6年2組





非行防止教室 : 4・6年



12月15日、香川県警察本部の方2名に来ていただき、非行防止教室を行いました。

まず、万引きについて学びました。万引きは、犯罪であり多くの人に迷惑や心配をかけること、万引きに誘われたときにはきっぱりと断る勇気をもつことを教えていただきました。

また、ネットで人の悪口を書き込まない、ネットで知り合った人と会わない等、ネットの安全な利用について分かりやすく教えていただきました。



みとよ未来・ヤングサミット



11月27日、オンラインによる「みとよ未来・ヤングサミット」が行われました。子どもたちは、コロナいじめへの対応として、「コロナ感染者への偏見・差別をやめよう」と呼びかけるために、ポスターを作成したりメッセージが書いてあるテッシュを配ったりする取組を発表しました。



秋のお店屋さん : 1年



1年生が秋の木や草の実を使って、いろいろなものを作り、お店を開きました。そして、幼稚園児を招待して遊んでもらいました。お店は、つり、またあて、迷路、けん玉、どんぐり車などの10店。遊び方や品物の説明を一生懸命にしている1年生がとても頼もしかったです。また、楽しそうに遊んでいる園児の姿がとてもほほえましかったです。



12月18日、6年生は認知症になる原因や認知症の人への接し方について学びました。役割演技をしながら、どのように声かけをすればいいのかを具体的に経験することができました。

また、高齢者の気持ちを考えるために、膝が曲がらないようにしたり、目が見えにくいようにしたりして、高齢者の模擬体験をしました。これらの体験を通して、いろいろな人の立場に立った優しい言動ができるようになることを願っています。



全校ことばタイム : 2年



車椅子の贈呈式

12月18日に車椅子の贈呈式を行いました。今年は、コロナでアルミ缶の回収ができず、1台の寄贈になりましたが、社会福祉協議会の方に喜んでいただけました。



12月3・4日に2年生がたぐさのことわざを覚えて発表したり、なかよしフェスタで作ったおもちゃの作り方や遊び方について説明をしたりしました。おもちゃづくりの説明については、順序をあらわす言葉を使って、分かりやすく発表してくれました。話す態度も立派でした。